

第3回 杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会会議録

(要旨)

会 議 名	第3回杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会
日 時	令和元年12月10日(火) 午後1時35分～3時01分
場 所	杉並和泉学園 1階 会議室
出 席 者	懇談会委員13名(欠席7名)
傍 聴 者	0名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会の挨拶 2 第2回懇談会議事録の確認 3 保護者説明会(11/16)における意見・要望のまとめについて 4 質疑応答 5 閉会
資 料	資料 杉並和泉学園通学区域に関する意見・要望のまとめについて

学園長	<p>時間が過ぎておりますので、早速、第3回杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会を始めたいと思います。</p> <p>本日は、次長がご欠席ということで最初から私が進行いたしますが、よろしくをお願いします。</p> <p>まず開会の挨拶を学務課長、よろしくお願いします。</p>
学務課長	<p>学務課長の村野です。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>今回で第3回ということで、その前に先日保護者説明会も行いましたので、後ほどそちらの質疑の内容についてもご説明しますので、よろしくお願いします。</p> <p>また、本日懇談会の資料のほかに保護者説明会の資料もつけましたので、こちらも参考にいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

学園長	<p>ありがとうございます。資料の確認等を含めまして第2回懇談会議事録の確認も一緒にでよろしいでしょうか。</p> <p>では係長、よろしくお願いします。</p>
学事係長	<p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中お越しいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私から、本日の資料の確認をさせていただきます。皆様のお手元に2点あると思いますが、1点目が「第3回杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会次第」ということで、次第が1枚と、その次に「杉並和泉学園通学区域に関する意見・要望のまとめについて」が1枚、裏表であります。</p> <p>その後に名簿がついていますが、こちらは10月16日付で教員の人事異動がございまして、荒木副学園長が異動され、代わりに大矢副学園長がこちらの委員になっていただきました。本日大矢副学園長はご用事がございまして、白川副学園長が後から参りますので、よろしくお願いします。懇談会の名簿上は大矢副学園長が委員となりますので、ご了解いただければと思います。</p> <p>もう1点は参考までに前回11月16日土曜日に、和泉学園において保護者説明会を行いました。大人85名にお見えいただきまして、お子さんを加えると100人を超えるにぎやかな会になりましたが、そこでお配りした資料、こちらの懇談会で説明させていただいた資料について保護者に説明し、そこで出た質疑応答について後ほどご説明させていただく形になります。</p> <p>もう1点は、本日お持ちでない方もいらっしゃると思いますが、第2回懇談会の議事録を既にお配りして、メールの方はメールだけで申しわけないのですが、もし、これは違うのではないかとか、私はこんなことは言っていないということがありましたら、言っていただければと思います。</p> <p>そちらを踏まえまして一定期間を置き、年末から年明けぐらいまでにはホームページにアップしたいと思っていますので、何かございましたら言っていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
学園長	<p>第2回の懇談会の議事録の確認は、今のお話で既に配付させていただいているということですが、その中で何かありましたら、事務局によりしくお願いしたいと思います。今ありますか。大丈夫ですか。</p> <p>では本日の流れですが、基本的には第2回を受けてこちらでご意見が出まして、早急に保護者説明会や地域説明会をやったほうがいだろうということと、就学前の方にもターゲットを当てて説明会をするようにとのお話があり、先日11月16日にそれを受けた保護者説明会があったということです。</p> <p>ここでのご意見を受けてから至急動いた関係で、当日はもう少し早く周知してくれなければ困るという意見もありましたが、そうは言っても最短の時間でやっていただいたと思っています。</p> <p>3つ目の議題ですが、本日は主にこの意見を受けて、これからのことについて、ある意味では少し課題を絞り込んでいく話になるのか、あるいは課題が整</p>

	<p>理できたから、このまま教育委員会にお預けする形になるのか。どちらかだと思いたいますが、よろしくお願ひしたいと思いたいます。</p> <p>では、本題の第3番目「保護者説明会（11/16）における意見・要望のまとめについて」のご説明をお願ひします。</p>
<p>学事係長</p>	<p>3番目の11月16日保護者説明会における意見・要望のまとめについて、学事係長から報告いたします。</p> <p>お手元の資料の2枚目「杉並和泉学園通学区域に関する意見・要望のまとめについて」ということでA4判1枚でまとめてございます。そちらをお開きください。本日の資料の2枚目、11月16日の方ももちろんご覧になっていただいて結構ですが、「まとめについて」をご覧になるようお願ひいたします。</p> <p>11月16日の保護者説明会ですが、前回第2回懇談会で、就学前の子どもたちのご家庭にも、ぜひ通知を配ってくれというご意見をいただきましたので、私どもで、できるかなと思いたったのですが、この地域に、今話題になっていましてA、B、C、Dの通学区域内にお住まいの、4～5歳の児童をお持ちの親御さん約350世帯宛てに、11月16日に杉並和泉学園の通学区域の説明会をやりましてというお知らせを流しまして、その結果当日約85名の保護者にお集まりいただいたものでございます。</p> <p>その時の意見、要望をこちらにまとめておりますので、1つずつご説明いたします。</p> <p>11月16日に始める前に、ここに至るまで、既にご承知のとおり、「1 令和元年度の説明会等の経過」ということで、7月18日に方南和泉地区町連会議で、最初に通学区域をこう変えたいという教育委員会の検討素案をご説明しました。</p> <p>その後こちらの懇談会、7月30日に第1回杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会で初めてこちらの皆様にも、教育委員会としてこういう通学区域変更素案を考えているというご説明をさせていただきました。</p> <p>7月30日にいただいたご意見をもとに、引き続き10月15日、第2回杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会を開催し、通学区域に関する懇談会の中での課題と、前回懇談会での意見・要望への回答を議論しました。</p> <p>その後11月16日土曜日、今申し上げた保護者説明会を杉並和泉学園の小アリーナで行い、85名の保護者にご出席いただきました。</p> <p>2番で、この85名から出されました質疑、意見、要望をまとめていまして、大きく3つに分けていまして、まず「通学区域の変更について」ご要望をいただきました。D地域、方南小学校の通学区域になっている方が一番多く、32名がお見えになっていて、そこの方々から意見も多くございまして。</p> <p>6つほどいただきまして、今回杉並和泉学園の通学区域の決め方はどのようなになっているのかとのご質問をいただきました。</p> <p>地域の代表、保護者の代表、近隣の校長先生から成る懇談会をつくって、そこでご意見、ご要望をいただきながら通学区域の検討をしているということで、</p>

その後文教委員会に報告して、最終的には教育委員会に諮り、意思決定後、規則改正をしてをして、変更する旨の説明をしました。

②は、B地域は3年間就学実績がないとは言え、通学区域から外すのはいかかなものかというご意見をいただきました。

これに対しては、前回の資料をお持ちの方は見ていただくと、29年度には1名いましたが、もともとは小学校の通学区域で、今回の通学区域の変更は小中の通学区域を統合するのが大きな目的ですので、B地域につきましては小学校も中学校も杉並和泉学園が一番近い地域となり、教育委員会としては新しい杉並和泉学園の通学区域としたいということをご説明しました。

③は、C地域を通学区域から外した理由とはというご質問がございました。C地域とは、今は永福小学校の通学区域になっている地域ですが、もともと向陽中の通学区域でしたが、小学校の通学区域は永福小学校だったので、これも小中一緒にしていく趣旨から通学区域を一緒にして、C地域については向陽中に変えた。

もともと通っているお子さんも永福小学校に行っているお子さんが多く、中学校も向陽中学校に進む方が多かったという就学の実態を踏まえながら、そういった形をとったという説明をいたしました。

④ですが、C地域の分割は考えられないか。地図を見ていただくとわかりますが、B地域やD地域に比べるとC地域は面積が結構広いので、分割は考えられないかと。

いわゆる井ノ頭通り、井の頭線に近い地域については杉並和泉学園のほう近いのではないかというご意見もいただきましたが、C地域はもともと通学区域が永福小学校であったということがありますから、地域を分割するのではなく、今回は全体で区画を分けると回答しました。

⑤は、D地域に在住だが、新泉和泉小学校に通っていても、令和3年4月からは方南小に行かないといけないのかというご質問をいただきまして、こういうご質問はごもっともだと思いますが、そういうことはございません、既に通学されている方につきましては、その学校に引き続き行っていただきますと。

こういう疑問を持たれるのは至極もっともなことだと思いますが、大丈夫ですとのお話をいたしました。

⑥D地域については、環七を渡らせてまで方南小に行かせる点は考慮したのかと、安全面からのご質問をいただきましたが、環状七号線はほかの地域もそうですが、基本的には子どもたちは必ず歩道橋を渡ってもらうという指導をしているものですから、今後も歩道橋をしっかりと渡ってもらうことでお願いをしていきたい。逆に下を渡るのは非常に危ない道路ですので、まだ決定ではないですが、例えば交通安全指導員の配置や歩道橋への周知看板などをきちんと整備して、歩道橋を渡って環七を渡れる工夫をしていきたい。

環七そのものを見ると、非常に交通量が多く危ない道路というイメージですが、逆に歩道橋を渡ることで安全面を解消していきたいとご説明しております。

次に「指定校変更・特例措置関係について」ですが、①で特例措置の説明をしてほしいというご意見をいただきましたので、お手元にあります11月16日の保護者説明会資料として、お配りしている特例措置の用紙が1枚ついていますが、そちらに準じた形での特例措置を考えていきたいというお話をしました。

通学区域が変更になる地域にお住まいの方については、当面の間は特例措置でどちらの学校にも就学することができるという形で考えているという説明をいたしました。

②では、新泉和泉小学校に通っているが、和泉中に進学する際に申請は必要なのか。また、申請すると毎年必要なのかというご質問をいただきましたので、これにつきましては、基本的に就学する際は申請は必要です。紙で出さないといけないのかのご意見もいただきましたが、申請自体はさせていただきます。ただし、もちろん入学するときだけで大丈夫ですので、1年生から2年生に上がる時、2年生から3年生に上がる時は必要ありません。小学校に入るときと、中学校に上がる時に書いていただければ効力を発しますので、毎年する必要はないとご説明しました。

ただ、電子で申し込めないかとか、ここに行かなければだめかということについては、申し訳ございませんが、今のところは学務課に来ていただいて申請していただく必要があるとの説明をいたしました。

もし、できるのであれば検討をしないといけないと思うのですが、現状は教育委員会に来て、申請していただく形になっているという説明をしました。

③で、海外から戻った場合は特例対象なのかというご質問をいただきました。この場合いわゆる特例措置にはなりません、D地域に住んでいて和泉小に通っていて海外に行ってしまったケースがあったとすれば、特例措置として認めることはできませんが、教育的配慮ということがありますので、そこで築いた友人関係とかもございませから、教育委員会に相談していただいて、そういったお子さんについては認めていくことで考えています。特例措置ではありませんが、子どもたちに不利益のないようには検討していくという回答をいたしました。

④の兄弟がいるが、特例措置の期間は最低10年にしてほしい。これは、特例措置は3年ぐらいを考えているという説明をしたのに対してこういったご意見をいただきました。

考えなければいけないのが、兄弟事由ということで、上にご兄弟がいる場合は下のお子さんも基本的に入れますというのが指定校変更の決まりの中にありますが、今は小学校は小学校だけ、中学校は中学校だけという要綱になっています。

和泉学園や高円寺学園の小中一貫校の場合、9年生という言い方をする学校もありますが、中学2年生にお兄さん・お姉さんがいる場合、今度新しく入る子がそれを理由に入れることが必要ではないかということは、まだ教育委員会で考えていて、今はそういう制度にはなっていません。それを令和3年4月ま

でに検討しなければいけないというのを、こちらでは考えています。

今の段階ではまだ最低10年にはなっていませんが、ゆくゆくは和泉学園について、そういった要綱の変更は必要だと考えているというお話をしました。

現状では特例措置は3年程度という説明をしていますが、その3年後にそういった流れが大きければ、もう少し期間を延長することは考えていますので、就学状況等をその間に確認して判断する旨のお話をしております。

⑤の、もともとC地域に住んでいて、引っ越してきて戻った場合はどうなのかというご質問もありました。これも先ほどの海外から戻った場合と同じですが、特例措置ではありませんが、例えば和泉学園に通っていて、引っ越して関西に行ったけれども、6年生のときに戻ってきたという場合は、これも前と同じように基本的配慮がありますので、特例措置としては認められませんが教育的配慮という形で、ご相談いただければ戻すことも行っていますので、教育委員会に相談いただければと思います。

⑥D地域から和泉中学校へは特例を希望すれば必ず入れるのかというご質問ですが、特例措置は基本的に必ず認めますが、100%大丈夫という返事はできません。

学校の規模がありまして、余りにも人数が多いとか、普通はほぼ全員入れるという説明をしていますが、これは兄弟事由であっても、変更すべき学校が非常に人数が多いという場合があるとお断りしなければいけないことがありますので、必ずという言葉は入れられないのですが、特例措置の場合は基本的には全員入れるという説明をします。

逆に言うと、今まで特例措置でお断りしたことはありません。今まではなかったのが大丈夫ですが、極端な話、もし和泉学園に物すごい人が集まった事例があれば断らなければいけないので、必ず100%入れるという返事はできませんが、基本的には入れると申し上げておきたいと思います。

⑦D地域から特例措置で新泉和泉小へ行った場合、泉南中に行かなければならないのかというご質問をいただきましたが、これは要綱を変えており、小中一貫の教育一貫校に入った方、具体的には和泉学園と高円寺学園ですが、こちらの方については学区外から小学校に行った場合、必ずその中学校に入れると要綱上はなっていますので、これは大丈夫です。これは100%大丈夫とお答えできますので、よろしいかと思います。

先ほどの兄弟事由については、今後要綱を改正して、中学校にお姉さんがいれば同じ小学校に入れると整備していきたいと思っていますので、現在は未整備ですが、来年以降は整備していきたいと思っています。

「その他」ですが、①方南小の児童数が増えるが施設的に問題はないのかということで、これは多分D地域の方だったと思いますが、方南小の人数がふえることについてご心配をいただきました。

昨日もお電話をいただきまして、方南小が心配だということで、もし施設を変える場合はグラウンドが使いなくなるのではないかとお電話をいただきま

	<p>した。</p> <p>今の方南小の中には、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、「ふれあいの家」という高齢者の施設がありますが、こちらは近い将来ほかのところに移っていくと聞いていますので、その施設の分については、教室に転用できると教育委員会では考えています。その分、人数が増えても対応できると想定しています。</p> <p>②通学区域について、教育委員会の決定の仕方はどのようになっているかということですが、「通学区域の変更について」の①と違うのは、①は和泉のことでしたが、これは通学区域全般についてどう決めているのかというご質問でした。</p> <p>これにつきましては、一般的に通学区域を変更する場合は、教育委員会だけではなく、町会や商店会など、地域の方々のご意見もいただきながら調整していく必要があるのです。簡単には変えられないということです。</p> <p>最後に、本日の開催通知が2週間前に来た。もう少し早くできなかったのかというご意見をいただきましたので、これにつきましてはもう少し早く送らなければいけませんでしたが、申し訳ございませんということでおわびいたしました。</p> <p>3番目の「今後に向けた区の考え方」については課長から説明を申し上げます。</p>
学務課長	<p>いろいろなご意見をいただいて、また保護者説明会にはたくさんの方にご参加いただきました。特に4歳、5歳、これから就学される保護者の方もたくさん来ていただきまして、いろいろなご意見・ご質問もいただきました。</p> <p>また、懇談会も2回ほど開催しまして、その中でもいろいろなご意見をいただきましたので、そういうご意見を踏まえて、小学校と中学校の通学区域の整合性を図ることは大事なことであるという方向性は、ご理解いただけたと思っております。引き続き、この懇談会の中で、今までのご意見も踏まえてご検討いただければと思っています。</p> <p>また、保護者説明会でも特例措置についての質問もかなりありましたので、そちらにつきましては柔軟な対応をとれるように検討していきたいと思っております。</p> <p>特例期間の取り扱いは、通学区域が変わったら絶対そこにしか行けないというわけではないこともご説明しておりますので、その期間、高円寺学園もそうですが、変更してから3年間ぐらいやって、そこで状況を見て特例を見直すことはありますが、それで決まったから全て決まりというわけではなく、高円寺学園でも特例措置は3年ぐらい見て、そこからまた検討しようという形をとっているのです。こちらにつきましてもそのぐらいの期間は見て、検討していく必要があると今のところ考えていますので、そういうことを含めて懇談会でご意見をいただければと思っています。よろしく願いいたします。</p> <p>私からは以上です。</p>

学園長	<p>この資料等について、あるいは 11 月 16 日について質問がありましたら、よろしくお願いたします。</p> <p>私から質問なのですが、当日の内訳、現在学齢期のお子さん以外の就学前の方はどのぐらいいらっしゃったのですか。</p>
学務課長	<p>当日アンケートをとりまして、本日は集計結果を持参しておりませんが、4～5歳の保護者が一番多く、地域的にはD地域の方が多いという内容でございます。</p>
学園長	<p>当日参加された方はおわかりだと思いますが、うちの現役の方が中学校にいけるのかという質問と、それから学齢期のちょっと前、就学前の方がそもそもどこの小学校に行くのかという2つのタイプがあって、それが今の記録の中で混ざっている。</p> <p>例えば、私がわからなかったのは2番の②「B地域は」というのは、和泉三丁目5-6と11から16、永福四丁目から2-3のこの地域については、3年間就学実績はないとはいえ通学区域から外すのはいかがかということは、大宮中学校の通学区域から外すのはいかがかという意味ですね。</p> <p>要約はされていますが、そのあたりが少し混じっているので一つ一つ見方を整理しないと難しいと思います。なので、ここは大宮中学校の通学区域から外すのはいかがかという意味だと思います。</p>
学務課長	<p>そうですね。</p>
学園長	<p>質問はありますか。</p>
委員	<p>1つは、要約した中で、あそこで僕が聞いていてもっともだと思ったのは、学校中心に距離で通学区域を決めたほうがいいのではないかという意見という質問があって、それに対して通学区域はいろいろな歴史の中で決めてきたというお話をされたと思いますが、あの指摘が大切だと思うので、この中に書き込んでもらったらいいと思っています。</p> <p>例えばC地域はこちらに来たほうが本当はすごく近いです。向陽中学に行くよりは和泉中学に来たほうが近いけれども、そういう話が出たと思うので、もっともだと聞いていましたが、それがここには書いていない。</p>
学園長	<p>いかがですか。</p>
学務課長	<p>距離的に言うと、確かにそういうことがあります。通学区域は昭和22年ぐらいから行っていますが、町会や地域境とか、大きな幹線道路とか、そういうことも考慮して決められているところもございます。</p> <p>そちらについては、今、委員がおっしゃったとおり、近いことももちろん大切な視点だと思います。そういう視点から言うと、指定校変更の事由の中に距離が近いところと、2倍離れる場合は、近いところの小学校に来られるような、そういうお認めもしているところはございます。</p> <p>ただ、距離の視点ももちろん大切ですが、そういう町会の区分けとか、幹線道路とか、鉄道とか、そういうこともありまして、通学区域が決まってきた歴</p>

	<p>史もごございますので、先ほども説明しましたが、そういうことも含めて必要なところを見直すことは大切だと思います。</p>
委員	<p>僕は意見を言いたいのではなく、あの場所でそういう話が出たでしょう。そのとおりのお答えをそのときされましたね。それをここへ、1行書かれたらどうですかということだけです。</p>
学園長	<p>議事録の中に漏れていることとして今の話があったということで、それをに入れていただいたほうがいいと思いますが、いかがでしょうか。それについての見解は、それはあるかもしれませんが。</p> <p>いかがですか。もし質問がなければ、これについては現在11月16日の話を受けた上でこういうふうにしたほうがいいのではないかとか、このあたりは納得したという形で、少し話を進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>指定校の変更で「D地域から和泉中学校へは特例を希望すれば必ず入れるのか」ということですが、これはどのように保護者の方に連絡をするのですか。その場では、必ず入れるものではないと言われた記憶は私にはありませんが、どのように連絡されていますか。</p>
学事係長	<p>きょう、来年4月に入学される新小1・新中1の方々に、就学通知を郵便局に持ち込んで投函しました。そこに緑色の、令和2年4月入学の児童生徒の保護者の皆様へということ、指定校変更の説明書が入っています。そこで、和泉地区についてという形で載っていますので、対象の方にはこれが全員行っています。きょう投函ですから、多分あしたかあさってには届いていると思いますので、こちらをご覧になって、和泉はどうなるのかというのがあればご質問をいただければと思います。</p> <p>この紙は、小学校に入る方には、9月に就学時健診を行います、それを受けてくださいという案内にも入っていますので、小学校に入る方については2回、中学校に入る方については1回送っています。それをご覧になっていただいて疑問等がございましたら、連絡をいただければと思います。</p>
委員	<p>あの場で質問された方は、それを見る状況にありますか。</p>
学事係長	<p>新小1だともしかすると届いている可能性はありますが、あとはホームページを見ていただくか。きょう間違いなく送っていますから、あすあさって中には必ずお手元に届きますので、それを見ていただければご理解いただけるというのと、それでもおかしいとか、質問があれば連絡をいただければと思います。</p>
学園長	<p>今の質問は、あそこに出ていた方は小学校3年生や4年生の保護者もいて、今のお答えは6年生の保護者には配付されるということなので、3～5年生の保護者は、6年生になるまでわからないのですかということも含まれている質問だと思います。</p>
学事係長	<p>全くそのとおりで、今のお話は新小1と新中1の方だけです、3年生や4年生、在学の方については特に何か配っているなどはないので、ホームページで、これもつい最近ですが、やっと今杉並和泉学園の懇談会の話を書き始め</p>

	<p>ていますので、区のホームページの教育委員会のところを開いていただくと、新しい学校づくりや学校案内のところには和泉学園のことも書いていますので、そこをご覧になっていただいて、それでもわからない場合はこちらに連絡をいただければと思います。</p> <p>おっしゃるとおり、まだ在学年には連絡は行っていませんので、それについては今後考えていかないといけないと思っています。</p>
学園長	<p>それは学務課だけがやることではなくて、「学校だより」などのチャンネルでお話することもできるので、そのところではご意見をいただきながら、在校生にはこうなりましたと、学校からの情報発信をすることもできると思います。ここは相談させていただいてよろしいですか。</p> <p>山崎さん、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>まとめていただいた意見・要望にどういうものがあった、どういう回答をしたというの、何かフィードバックは考えているのか。</p> <p>当日ご出席された方はもちろんご質問されている方なので、それをもう一度見たいという方もいらっしゃるし、来られなかった方もいらっしゃるの、どこかでフィードバックをするのであれば、私も当日出席していましたが、同じような質問の内容でも人によってニュアンスが違ったり、趣旨が違ったりするので、どこの地域の、小学生対象なのか、中学生対象なのかからどういう意見があったというの、もうちょっと細かくわかるようにして発信したほうがいいのではないかと。先ほど学園長がおっしゃったとおり、中学の話なのか小学校の話なのか、どこの地域に住んでいて、どこが対象だけでも、どこに行きたいのかというの、もうちょっとわかるように発信したほうがいいのではないかと思います。</p>
学事係長	<p>そのときにも申し上げましたが、11月16日の説明会のフィードバックは、この懇談会でまとめて、それをホームページに載せて周知しますという言い方をしたので、ここでご質問をいただいて、きちんと直した上でホームページに公開して、そのときに来た人はこんな意見が出たね、区の人がこんなことを言っていたねというのがわかるようにしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>私も今、田中先生がおっしゃったように、これ全体はこの間も出ていましたが、現在小学生・中学生の在校生、4～5歳のこれから上がる子を分けて、おのおのきちんと分けつけて資料をつくってはいかがですか。具体的に。</p> <p>4年生、5年生のお母さんはかなり生々しい話をしていましたね。さっきのアメリカの話など、そうだろうなと思って私も聞いていましたが、中学・小学生、これから上がる子に分けて資料をつくって話をしていったほうがはっきりするのではないのでしょうか。</p>
学事係長	<p>ありがとうございます。</p>
学園長	<p>今、具体的な質問とご意見が混じり始めたので、ご意見も含めてお話をいただきたいのですが、例えばこの前出られた方の感想であったり、そういうもの</p>

	<p>がもし保護者の方であったり、地域の方で、説明の中でここはわからなかった、あそこでは言えなかったけれどもこういう意見があるということがあればお出しただければと思います、いかがですか。</p>
委員	<p>私は聞いていて、質問していたお母さんは、質問の内容から区役所にもかなり連絡しているのではないですか。だけれども、すっかりしないのであそこへ来てもう一回どうですかという話に、私には聞こえました。</p> <p>区役所は担当の方は決まっていますか。</p>
学事係長	<p>おっしゃるとおりで、ご質問をいただいた方の中には事前に区役所に電話したけれども、よくわからないのできょう来たという保護者もいらっしゃいました。</p> <p>先ほど私が、基本的には入れるけれども人数がたくさん来た場合は入れないと申し上げましたが、その辺のところは担当によっては全員入れない場合があるとか、不安をあおる言い方も確かにあったと思います。その辺が難しいのですが、お母さんからすればうちの子は入れるのかしらという気持ちで来ていますが、事前に区役所に電話したら全員入れるわけではないという対応は確かにしています。ご心配な気持ちはもったもです。基本的に入れるということは申し上げたいので、ニュアンスの違いは確かにあると思いますが、その辺をもう少ししっかりまとめて、どなたにも安心して入ってもらえるように、わかりやすく解説していきたいと思います。</p>
委員	<p>お母さんからしたらこれだけですわね。</p>
学事係長	<p>それはもったもなことなので、どなたにでも安心して、この変更をしても大丈夫だと思ってもらえるように整備していきたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
学務課長	<p>今おっしゃっていただきましたが、この懇談会でも言われまして、地図が小さ過ぎて、実際にどこなのかわからないとかなり言われましたので、説明会ではなるべく大きな地図によって、自分のところがD地域と言われてもわからないから、どこの地域かわかるようにということで、これを見て、実際に自分のところがどこの通学区域に入るかが認識できたというご意見をいただいております。この中で言っていた内容を反映させて、なるべく皆さんにご理解いただける資料づくりに今後も励んでいきたいと思っています。</p>
委員	<p>通わせる保護者の方は、通えないのではないかという不安もあるかもしれませんが、通っているほうとしては特別措置でいっぱい来てしまったときに、今の中学校の状況で言うと、教室がすごく少ないので、今は5年生ぐらいから人数がふえてきていると思いますが、どんどん下になってくるとまたふえている状況です。それで、特別措置で入れますと言われて、学校から済みませんとは強く言えるのですか。特別措置でも、うちは教室が満杯なので無理ですと学校から言えるのですか。</p>
学事係長	<p>もちろん学校の実情が一番大事です。その辺は教室をつくらなければいけな</p>

	<p>いとか、ある教室を改修しなければいけないということを含めて校長先生に相談し、こうなりそうですがこれぐらい入れていいですかとか、最終的には教育委員会で決めますが、それには事前に校長先生にご意見と実情を伺って、相談しながらやっていかなければいけない。決めるのは教育委員会ですが、やみくもに進めることはできませんので、その辺はきちんと校長先生と相談して、進めていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>基本的には、決まった通学区域の学校に行ってもらうのが基本ですと。それにはきょうだいもともと通っているだとかという、特例措置というのは特例なので、先ほど区の方がおっしゃっている言い方だと、希望すればみんなおおよそ入れるという認識になってしまう。特例措置で何かしら申し出をすれば、必ず入れてもらえるだろうというので、割と未就学の方の質問や意見が多かったのが特例措置です。</p> <p>私も、私と同じ子どもの保育園のお母さん方が通っていましたが、出る言葉は特例措置なのです。これを出せば入れるのかという。</p> <p>なので、どうしても学校の人数やそういうもので決まっているというのであれば、基本通学区域の学校に通っていただくのが前提です。ただ、ご兄弟がもともと通っていらっしゃるなどの特例措置はきちんとあるという言い方をしないと、今のまま発信し続けると恐らく、うちの5歳の子がちょうど通学区域が変わるタイミングですが、みんな特例措置を出しますよ。今の言い方をされていると。</p> <p>そうしたら10人も20人もとなる可能性は大いにあると思うので、もうちょっときちんと線引きしなければいけないところは言ったほうがいいのではないかと、今のお話を聞いていて思いました。</p>
<p>学園長</p>	<p>前回、通学区域はしっかり確定させるべきではないのかというお話があって、そこに運用を設け過ぎてしまうと、今言ったような心配ごとが出てくるのではないかというのが、この懇談会でのお話だったと思います。</p> <p>前回配られた資料よりも、学級数の推計数が上がっていますね。24で出ていましたが、28ぐらいまで上がっている可能性があるのも、今のお話は逆に切実感が出てきていると思います。</p> <p>最初にお考えになられている何年度から何年度までのしっかりとした特例措置なのだということ、アウトのところをしっかりと決めておかないと、そしてそこから先は、皆さんの意見のとおり、しっかりした通学区域の中で原則やっていくことを明確にしておかないと、きつい気がします。いつまでもこの地域ははざまの地域として運用されるという考え方でいくと、ある意味ではどんどん、この地域の中でもまだ土地があったりとか、私たちにとってはうれしいことでもあります。そういうことがあると思うので、ぜひ最初のここでの話の中の、通学区域というのは通学区域なのだからということも踏まえて原案を決めて、私は、運用期間はいつからいつまでということをはっきりと明らかなにして、今ここに家を買ってしまった人たちまでは何とか理解するが、これからの方については、</p>

	<p>原理はそこでパンクしそうであれば来ることはできないということの整理は、これまでと同じように学務に進めていただきたいと思います、いかがでしょうか。</p>
学事係長	<p>私が今申し上げたのは、これから入る人についてはいろいろと配慮しているという話でしたが、在学生の方について、特例措置でいっぱい入ってきたらどうなるんだという不安が起きるのはごもっともですので、これについてもきちんと線引きしないといけないと思います。</p> <p>通学区域というのは、委員もおっしゃるように、どこかで必ず線を引かなければいけないことには決められませんので、引く必要がある。ただし、線を引いたから今日からこちらの人は絶対だめと分けてしまうと、それはそれでまたハレーションがありますので、そこを緩和するのが特例措置と考えています。</p> <p>ただ、特例措置も委員がおっしゃったように、あまり認めてしまうとご心配の種になりますので、そこは特例措置の線も引いてきちんと運用していきたいと思っていますので、どこかで線を引くと、さっき委員がおっしゃったように、近いところだけではなくて、少し遠い人は遠くなってしまうということも出てきますが、そこはなるべく特例措置でお救いするが、在校生にとっても教育環境をきちんと守っていくのも大事なことです。その辺はしっかりと両方を見きわめながら進めていきたいと思っていますので、ご理解をいただければと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
学園長	<p>1つの意見ですが、C地域を2つに分けていくという意見もありましたが、それは私は難しいと思っています。これ以上面積地域をふやしていくとうちの学校は、永福も厳しいかもしれませんが、教室数は限界まで行ってしまうと思うので。</p> <p>たしかに距離で通学区域を分けていけばいい、子どもたちのことを考えればそうですが、一方であまり増えてしまうと、校庭がそれほど広くない学校なので人数的な限界は来ると思うので、大胆に通学区域を減らせるところがあって増えていくならいいのですが、この前の話だと単純にC地域の真ん中で、こちらのほうで切ってくれという意見も出ていたと思います。そうになってしまうとここの人数まで小学部のほうに、現在は永福に行っている地域が来てしまうと、推計数が学校の体力の限界を超えてしまうのかなと。小学部の800超えです。</p> <p>先だっていたデータで780、24学級で前回いただいていたので、それよりも住基人口が増えているのかと思うと、ちょっとご配慮いただきたいという意見です。</p>
学事係長	<p>C地域は確かに広くて、おっしゃりたいことは非常によくわかりますが、井の頭線が線になっていますので、そういう意味でははっきりとここがC地域との線だと言えるのですけれども、もしC地域の近い方を和泉に分けようという話になると、どこで線を引くという話に当然なりますので、今は井の頭線ではっきりと切れますが、もし井の頭線に近いほうを和泉にしたほうがいいのかという</p>

	<p>話を受けるとすると、では今度はどこで線を引くのかとなって、その後の線が引けないぐらいの混乱を招くと思います。</p> <p>近いほうを和泉にしたほうがいいのではないかという意見はもっともなのですが、これは井の頭線で1回線を引かせていただくと決めざるを得ないのかなと。子どもたちの安全を考えても、線路で線を引かせていただきたいと考えています。</p>
<p>学園長</p>	<p>僕はそういう説明をあそこですべきだったと思います。今までの慣例とか歴史という話をしてしまうと、新しく住んでいる方は現在の地域の魅力で移り住んで来られている方なので、その歴史は関係ない。</p> <p>多分、今まで住まわれている方に対してはその説明でいいけれども、新しく住まれた方については、歴史がこうだとか、そこで住まれている方は永福小学校にお子さんがいらっしゃったイメージがあるから行きたいとか、こちらに行きたいというのはあるかもしれないが、そのところは今言った合理性の中で、しっかり説明できたらいいと思います。本校の保護者なので、申しわけないと思いつながりながら発言しています。</p> <p>ほかにかがですか。</p>
<p>委員</p>	<p>僕はきょう初めて出るので、今までの議論は別として資料1に目を通しましたが、非常に単純に言うと杉並区全域ではなく、杉並区の中に住んでいる人と、そこにある小学校・中学校、一番ポイントになるコンセプトは公平性だと思っている。</p> <p>つまり、誰からも便利で、差がない分け方をして、公平に、行きたいところになるべく自分の住んでいるところから簡単に行ける形に、全部ではなく一部を配置仕直したいというところが出発だったと思って聞いていた。</p> <p>記録を見ていると、意見が出ているのはちょうどはざまにある人や、逆に遠くなる人など利害がある。そういう人は必ず意見を言うわけです。今がいいのになぜこうなるという人が出てくるから。これをいちいち聞いていると切りがないと僕は思う。</p> <p>きょう区役所の責任者の話を聞いても、とにかくなるべく皆さんが公平に、満足してもらおうようにしたいから、そういうケースがありますとか、検討しましょうということがあるから、見ているとその話ばかりがどんどん進んでいって、本来の目的が決まらないと思う。</p> <p>こういうのを決めるときは、少々のおつれきがあっても決めますと言い切らないと。決めた根拠をはっきり書いて説明して、文句のあるやつは後から言ってこい、個別にやるとしないと、こういう場で意見を聞いて、皆さんが満足いくようになるべく公平な決め方をしたいとか何とか言っていると、いつまでたっても決まらないと思う。</p> <p>もっと単純に言うと、これを見ていると和泉学園という、中小一貫教育しているのが杉並区では初めてだから、残念ながらまだそんなに力がない。ここは先生の力を強くするのもあるが、優秀な人にもっと来てもらって、杉並区の一</p>

貫校はこれだけ実績を上げているから、いい高等学校に行きやすいということも言いたいから、PRの意がかなり区役所の中にあるのではないかという感じがする。当事者みんな皆そう思っている。

意見が出るのは、そこから外れている方が勝手に言っているだけで、そのときに大事なものは、悪いけど、いつまでたっても決まらないから一旦決めさせていただくとはっきり言い切ってしまうていいのではないかと。読んでいても、堂々巡りしている。出てくる意見をずっと聞いていても同じような意見でしょう。だからきょう初めて出てきたが、これはどうも難しい。

単純に言うと、和泉学園をもっと強力なものにしてPRしたいということが腹のうちにあるのなら、そんなことは表立って言えないかもしれないが、多分そうだと思う。子どもたちの間でも、お前どこだと言われて和泉学園と言うと、いいねとなる。そういうこともある。そうでないと困る。

学校から遠くて困っているという人もいるわけでしょう。だったら、そういう人たちをどう拾い上げるかを先に決めてからこうすると言えればいいのに、先にこうやりたいと言っておいて、いろいろなケースがあるからそれを言ってくださいというから、どんどん言うてくる。

今の話を聞いていると、誰がどこに住んでいるか、そういう例は見たらわかる。地図もあるし学校もわかる。どこが外れているかわかるから、必ずこういう意見が出てくると思ったら、それを先に仕上げておいて、それはこうしますとこちらから言う。それに対してさらに意見があるなら、その人たちだけ呼んで、いろいろ話をすればいい。そうしないと進まないと思う。

僕もとっくに学校は終わっている。今まで来た学校の中で一番意見の強いのは利便性です。家に近いとか、兄弟がいるとか、お父さんやお母さんが出たとか、結構その辺が根拠になっている人がたくさんいて、そこを離れたくないとか、そんなことを言い出したらきりが無い。それをわかった上でもう少し、今日は学園長がいらっしゃるから、そこで割り切らないと決まらない。

町会の人間が幾ら言われても、僕みたいにここの地域に来て何十年しかたっていない人と、ずっと長くこの地域にいる人とは意見が違うと思う。愛着があるんだから。全部中身は違うことを踏まえて、やるときは本当に腹を据えてやらないと、聞いているだけでも疲れる。いちいちそうだと思うから。担当はその辺をどう思うのか。

それともう1つ聞きたい。学校とは何のためにあるか。利便性ではなく学力であって、最終的に力をつけてもらって優秀な国民を育てることです。

中学校は教育の上で一番大事だと思っている。人間は相当年を食うとぼけるけれども、ずっと覚えているのは中学校のころに覚えたことだと言われている。これは全然違う話をしているが、小中一緒にしたというのは、そのことがわかっていれば、中学校で内容を詰め込んでどうすればいいかわかっているはずだから、それがうまくいくと思う。国民のレベルが一番合う。

そういうことを区役所の人は多分考えていない。地域を分けることだけが頭

	<p>の中にある。私が言いたいのは、部外者の関係ない意見みたいだが、今の話を聞いていると、自分たちの利害が中心になって出てくるから、それをベースにもっと突っ込んだほうがいい。はっきりしろと。</p> <p>区役所は大体そうで、皆さんに公平に、けんかするなど考えているから。どンドン言ったほうがいい。責任者はできないものは私はわからないから、帰って考えますと言っていい。この会議は何回やっても結論が出ない気がして、いらいらして聞いている。</p> <p>ただ教育の問題は基本的にもものすごく大事だ。特に和泉学園は小中一貫という1つのテストケースでやっているわけだから、いろいろな問題を抱え込むはずだから、それを見ていておもしろくない人も、たくさんいるかもしれない。</p> <p>僕はこれは非常に大事な問題だと思うから、遠慮がちにならず、もっと言ったほうがいいと思う。</p> <p>以上です。</p>
学務課長	<p>こちらの学園につきましては、27年4月に開校しましたが、その前に22年から4年間28回、開校に当たり検討を、今のメンバーとは違いますが検討してきました。</p> <p>その中で、委員もおっしゃったとおり、杉並区で初めての小中施設一体型の学校をつくるに当たり、この通学区域についても検討しましたが、今回初めてということで、少し様子を見てから通学区域を決めようと、その中で決まりました。それで5年間、経過を見てきました。</p> <p>なので、今おっしゃったとおりに、ここではっきりさせましょうというのがこの懇談会の趣旨で、今までは初めてということもあったので、通学区域については少し状況を見てから最終的に決めましょう。小中一貫ですから、通学区域が違うのはよろしくないだろうということで、今回はそれを、小中一貫校で通学区域をきちんと決めようということで、委員がおっしゃったとおりに、そこは今回、この懇談会でご意見をいただいて、決めましょうというのが大きな目的です。</p>
委員	<p>意見と苦情は違う。苦情と希望は幾らでも出てくる。それだけやってきているから、区役所はもう腹を決めるべきだ。少々の抵抗があるのは当たり前だから。いちいち意見を聞いていたら、絶対に決まらない。それをきちんとやってもらいたい。</p>
学務課長	<p>それでここでご意見をいただいて、今後にもう1回開く予定で、その後に案をつくって、議会にもご説明して、最終的には教育委員会に諮り、決定し、規則を改正し、令和3年4月から新たな通学区域を決定する段取りで考えています。</p>
委員	<p>一応スケジュールは決まっているのですね。</p>
委員	<p>通学区域を決めるのは大変だと思いますが、一番は子どもの安心・安全だと思います。だから環状線、線路、川で学区が分かれているのは、そういうとこ</p>

	<p>ろが一番大きいと思います。要は、川が増水したときに渡らせたくない、交通事故のリスクがあるところを通らせたくない、だから、そういう分け方もあると思いますが、今回出ているのは保護者の説明会で、説明が納得いかないから質問が出る。</p> <p>私も聞いてみて考えましたが、確実に和泉に行かなくてはいけない子たちがいます。その次に今までの経緯もあるからということで、特例で100%行ける子たちがいます。これには条件がきちんとある。</p> <p>その次に、ここには入らないがいろいろな関連性やルーツがあって、どうしても和泉に行きたい、ここは検討できますという層がいます。それとは別に全くもって関係ない、あなたたちは何を言ってもだめですよという4層にしか分かれなければならないはずなのです。</p> <p>上の2層は説明ではっきりできる。では、検討するというところに対しての説明はどうなのか。それはD、B、Cの各地区によって言いたいことや思っていることは多分違うし、それこそ人によって違うはずだから、例を出して、こういう方はぜひ相談してください、検討に乗せますという、これだけでいいのではないかと思います。</p> <p>あとは通学区域は決定事項だから、先ほどもおっしゃったように、これでいきます。理由としてはこうです。あとは皆さん居住者が、ここの方はこういう区分けがありますので、それに合ったところでお話をくださいという説明をして終わりでもいいのではないかと思います。</p> <p>意見でした。</p>
学園長	<p>今の意見はおよそ原案のと通りの仕方をしていて、整理の仕方としては、運用のところだけまだ曖昧な人がいるのなら、しっかりやりましょうというのに近いですかね。</p>
委員	<p>キャパのことを言い出すと、永福は約 630 となっていますが、こうなったらもう1個校舎を建てなくてはいけないレベルです。それはあちこちの学校で起こっていることなので、全くもって別で考えなければならない。</p> <p>だから、キャパが云々かんぬんで通学区域がどうのこうのというのは違うレベルの話で、要は区域としてどうか。さっき言った安全・安心と、永福で言ったら地域と密着で売っている学校なので、生活域がCの子たちも永福です。だから、永福小学校に来てほしいという思いがあります。</p> <p>そういうところがあるので、本当にあとはD、C、Bにかかった子をどう分けるか。そこに徹したほうがわかりやすいのではないかと思います。</p>
学園長	<p>いかがですか。大体一通りの整理だと思います。</p>
委員	<p>通っていい中学校を地域によって決める、そうしないとうまく回らないというのはよくわかるが、そのことによって損すると感じるか得すると感じるかは人によって違う。</p> <p>今、日本の若い人の学力は落ちているという話が出ているでしょう。読解力が落ちている。読み取る力。中学校の教育は、そういうことをきちんとたたき</p>

	<p>込んでくれるから大事なので、そこの質を上げて、通ってくる生徒の質を上げていかないと。ついて来られないやつは要らないという割り切りが、腹のうちにないとうまくいかない。</p> <p>親も見切ったほうがいい。親であれば自分の子どもがどの程度の間人であるかわかるはずだ。どうしても嫌な人は学校外に行って、私立の幼稚園から上がって行く金持ちもたくさんいる。では、金のない人は何もできないかという、そうではないはずで、考えれば幾らでもあるはずだ。</p> <p>だから自分が損する側に回るからと言って、なぜ損するかだけを言っても始まらないと思う。やるならもっと強烈に、もっときつく言わなければだめだ。自分の子どもを見て、周りを見て。</p> <p>これは何気なく見ているが、結構大事な問題ですよ。学校のこれを決めるのは。文部省も区役所も相当真剣にやっていると僕は思う。だけれども、馬鹿ではないから裏側に出てくるのもわかっている。それをどうするかは当然あるが、それがあまり表に出ると話が進まない。決めるときは決めてしまわないとだめだ。多数決でも何でも。今の政治はそうでしょう。</p>
委員	<p>委員の言われているところの、生徒を区別するのは僕は反対ですが、その前のところは、委員が言われたとおりの話を以前の会合のときにしました。議事録を見ていただくとわかります。</p> <p>それで、この間皆さんを集めたときのお話は、僕は委員が言われたように話してくれと頼んだのですが、非常にマイルドに話された。だから、いっぱい出てきた。私流に解釈すれば、腹が座っていないなど。</p> <p>ここで、委員みたいな人がいっぱい出てきてくれるのを楽しみに待っているのだと思うのですよ。お役人の人たちは俺が決めたのではなくて、ここの会でみんなそうだと。でも、腹を据えないと線は描けないわけですから、そうされたい。</p> <p>僕がもう1つあそこの会議で思ったのは、父兄には行かせたい学校があり、そこに行かせたい。和泉小学校や中学校は残念ながら杉並区の平均ぐらいで小中一貫の効果はまだ出ていないが、1つのコンセプトとしてはある。だからいい学校に見える。</p> <p>それに対して区のほうは、ここは一貫校です。でもグルーピングをして、一貫校と同じコンセプトでほかもやっていると説明されたと思うけれども、1つは見えていない。父兄の方にそれから、ここは確かにはっきりわかるわけだから、1つの中学校と2つの小学校というグルーピングで、ここのグループにはこういう特徴があります。例えば、ここでは英語も教えるようになりましたとか、パソコンがいっぱいありますとか、だから魅力的です。</p> <p>僕に言わせれば学力は平均値で、杉並区の上でも下でもない。得しているのは、杉並区がコストを安くするだけだ。学校用務員は2人だけではなく、1人でいい。それだけではないかと、僕は前に学園長に言ったことがある。</p> <p>中高一貫ならわかるが小中一貫、小学校1年生と中学校3年生の間で会話が</p>

	<p>できますかと言ったことがあります、それは別として、良さもあるというのはだんだんわかってきました。</p> <p>わかってきましたが、ほかのところでこういう形になっていないから、こちらに来たいではなく、行きたくないというイメージが強い。それは、教育委員会の責任だと思う。</p> <p>見える形で金を使ってパソコンをやるとか、ここは3Cという格好で今アピールをしています、そういう中学校1、小学校2で、こういうコンセプトでこのところは教育するという話をアピールしていけば、委員がおっしゃったことも含めてレベルも上がっていくだろうし、父兄の意識も上がっていく気がします。</p> <p>そういうことをしっかりやるというお話をしながら、線引きをしますという話をされるのが一番合理的です。</p> <p>父兄の話を聞いていて、言いたいことはいっぱいあるのだなと思ったが、先ほど言ったように、子どものことを考えれば、距離に関しては合理的だったと僕は思う。あとの人は言うてみれば、私はここの学校が好きなのに来られないのは、今は来られるのに来られなくなるのは何だと、それしか言っていないわけです。</p> <p>だからもう1回腹を据えると同時に、切り離される人たちに、あちらにはあちらの魅力があるという話がきちんとできるようにしてほしい。3年の移行措置みたいな格好があるのも、それは当然で仕方ないと思うが、その3年ぐらいのうちに、あちらはあちらで本当に魅力があるから。</p> <p>私はここの中学校を出ている。妹は2年下で、小学校から和泉小学校。僕は新泉小学校だったから、家族の中で別々だった。トラブルはなかった。ただ一つ、母親は2回父兄会に行かなければいけなかったから大変だっただろう。そういう話です。</p> <p>兄弟を一緒に行かせろと言いますが、あのころは強制的ですから。5年生から上は新泉、4年生から下は全部和泉。うちの区域は全部そうです。それでも大して文句はなかった。</p> <p>なぜやらなければいけないのか。あのときは人数が多過ぎてやっつけられないから2つに分けるのだと、これで話をしたわけです。同じような意味で、こどもちゃんとその辺のところを言わないと大変だと思います。</p>
委員	<p>行きたくない学校があると言っている父兄がいるのが事実だとすれば、これは我々がやることではないが、区役所でもどこでもいいが、そこの校長を1人ずつ呼んで、あなたの学校に対してこういう不満、不平、問題が出ている。それを、責任者である校長先生がそのことを自覚しているのかという問題。</p> <p>していたら、どんなことをやっているかを聞く。区役所が言ったが聞いてくれなかったというのならまだやりようがあるが、そこの校長の責任は重いと思う。あの学校に行きたくないと言われたら、相当ショックです。</p>
学園長	<p>基本的に今やっているのは通学区域にかかわるものなので、まだお話をされ</p>

	<p>ていない、特に今回一番大きな争点は実のところ、この前の話だと方南地域と、C地域をどうするかという話があったので、他の委員さんからもどういのお話が集まっているとかか、そういうものがあればお話をいただければと思います。</p>
委員	<p>この前私は出ていなかったのですが、読ませていただくとDから32名が出席しているということで、その方たちは安全・安心が第一だと思います。</p> <p>それでしたら、先ほどの委員のご意見かと思いますが、安全・安心を考えるのなら指導員を配置するようにして、だから安全だと周知すれば、それで解決すると思います。</p>
学園長	<p>先ほどそのあたりは考えていかれるということで、お話をいただいたと思います。</p>
委員	<p>それが一番だと思います。</p>
学園長	<p>他の委員は、いかがですか。</p>
委員	<p>私は先ほどから話が出ているとおり、こういうふうを示されたので、それで結構だと思います。これで押し通していくべきだと思います。</p> <p>ただし、先ほど校長先生も言ってくれましたが、例外は次の話として、基本はこれで推し進めていくという強い姿勢で対応していいのではと思います。</p>
学園長	<p>他の委員は、いかがですか。</p>
委員	<p>下が幼稚園の年少なので、今回16日の会議は対象外で行っていませんが、割と下の子のお母さん方と話していて、実際にC地域に住んでいる方で、自分自身が永福小学校だったが和泉中に行って、自分の子どもも同じルートで行けると思っていたのに、そうなのかみたいな感じでショックを受けていらっしやったので、4～5歳以外の方にも、今はまだ発表の時期ではないですが、もし発表するときは誰でも見やすい形で、大々的に発表していただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
学園長	<p>他の委員は、いかがですか。</p>
委員	<p>前回から、自分の心の中では中学部の保護者としては子どもたちの今いる、在校生の教育環境を整えていただくのが一番とっていて、年々1クラスずつあふれてきている子どもたちを考えると、今後どうなってしまうのだろうという不安が在校側にはあります。</p> <p>なので、はっきりと学校を決めていただいて周知してもらって、前に先生もおっしゃっていましたが、不動産屋が和泉学園通学区域みたいなものを売りにしているという話も出ているぐらい和泉学園はネームバリューもありますし、すごく人気なので、そういった意味では本当に区内の皆さんにわかっていただくぐらいの周知が必要なのではないかと思っています。</p>
学園長	<p>校長先生方は、いかがですか。</p>
委員	<p>まだ公になっていないので、本校の保護者や地域の方からこれについて聞かれることはありませんが、この会のきちんとした意図を理解して、何かを聞かれたときには答えられるように準備したいと思っています。</p>

副学園長	<p>やはり東京ならではののかなという気がしています。地方の都市で言えば、自分の学校は1校しかなく、そこに行かざるを得ない環境の中で、せいぜい選べる人たちがどちらに行こうかという話でしょうけれども、この地域で言うと、A小もB小もC小も歩いて通える環境の中で起きてくることかなと思います。学校目線で言うと、和泉学園に行きたいという声を聞くとすごくうれしい気持ちにもなりますが、やはり学校側がどの地域でと線を引くことは難しいことで、教育委員会、区の方が中心に決めていただかなければいけない。地域の方の要望で変えられるものでもないと思いますので、本当にぎりぎりの区域の人たち、BやC、D区域の人たちの切実な声、しかも1つではない、片側の声ではない逆側の声も含めて、絶対1つにまとまらないものの声を聞いていただきながら、その地域の人たちの声をできるだけ吸い上げた上で、さらに教育的配慮もしますと言っていただくゴール地点しかないのかと、聞いていて感じました。</p> <p>だからこそ、地域の声を最後まで聞いていただいて、しっかりと判断していただいた上で、さらに向こう何年かは教育的な配慮をしていただけることが一番いいのかなと感じています。</p>
学園長	<p>まだご意見は尽きないと思いますが、意見を総合させてください。基本的には今回出てきた意見について、この懇談会の中ではしっかりと、出てきた原案でやるのであったとしても、幾つか課題はあるだろう。</p> <p>1つは周知の問題が課題であろうというところです。それから、特例措置についてはしっかりと明記して、明らかにした上で臨んでいく。ここは皆さんの意見の共通点だと思っています。</p> <p>あとは行政側の説明や、決めなくてはならないところを決めていくということとはよくわかりました。教育の内容については、それぞれの校長に頑張らなければいけないところがあると思いますから、うちは福祉面でも「いずみみんな」があって、非常に個性化された学校ではありますが、教育の内容的にはまだ積み重ねなければならない新参者の学校なので、そのところは大宮小学校や永福小学校、方南小学校を目指さなければいけないところがまだまだありますので、そういうところは頑張っていきたいと思っています。</p> <p>あとは今出てきたものを総括して第4回に臨むわけですが、この後は手順としては文教委員会に現在の案を、このスケジュールで示すということですか。</p>
学事係長	<p>今後の予定ですが、第4回の懇談会をできれば2月初旬か中旬ごろに行いたいと思っています。</p> <p>その後、第1回区議会の定例会が年明け2月から始まりますが、その中に文教委員会がございまして、そこで和泉の通学区域についてはこのような形で変更していきたいという報告を議員の皆様にしてご承認をいただき、最終的には年明け令和2年5月ごろの教育委員会で正式に決定していきたいと考えています。</p> <p>もう1回この懇談会を開いて、最終的に和泉はこういう線引きをするけれど</p>

	<p>も、こういう特例措置でこういう周知をやっていきますという確認を、次回2月に行いたいと思っております。</p>
学園長	<p>よろしいですか。では、個別の意見がある場合は所管に寄せていただくということで進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>おおよその予定時間になりましたので、最後に学務課長から一言いただけたらありがたいと思います。</p>
学務課長	<p>本日は方南小学校の校長も急遽来られなくなりましたが、いろいろなご意見をいただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>方南小学校の校長がいらっしゃいませんが、方南小学校もすばらしい学校で、地域支援本部が表彰され、地域にすごく密着したすばらしい学校で、そこだけは言わせていただきたいと思っております。</p> <p>今回いろいろなご意見をいただきました。本当にありがとうございます。きょういただいた意見、保護者会の意見も踏まえまして、最終的にこれで行きたいという案を2月にお示しして、そこでご議論をいただきまして決めていきたいと思っております。</p> <p>この間何かありましたら、こちらか学園長にご意見をいただければと思っておりますので、本日は本当にありがとうございました。</p> <p>2月の次の日程も、できれば決めさせていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。次は2月18日を考えていますが、皆さんご予定はいかがですか。火曜日です。</p>
学園長	<p>そのあたりは各学校も忙しいというか、いろいろな予定が詰まっているところですので、私は大丈夫ですが、欠席される方は1人か2人はいらっしゃるかもしれません。</p>
学務課長	<p>3時ぐらいからのほうがよろしいですか。一応2月18日3時ということで、会場はこちらでご予定いただければと思っております。また事前にご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
学園長	<p>では、今のスケジュール調整を閉会の言葉として閉じたいと思っておりますが、よろしいですか。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>